

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

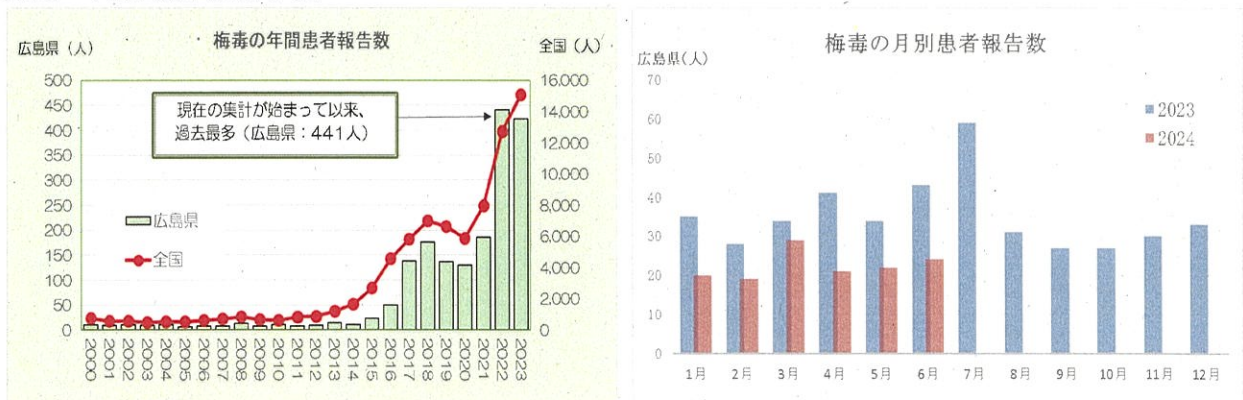
(令和6年7月解析分)

1 今月のトピックス

梅毒の患者報告数が、ここ数年急増しています。

性的接触などで感染する梅毒について、令和6年6月までの発生件数は135人(速報値)であり、感染症法に基づく現在の集計が始まって以来、過去2番目に多い2023年よりは緩やかに推移しているものの、依然として高い傾向にあります。

梅毒は、早期に治療すれば完治しますが、放置して進行すると脳や心臓に合併症を引き起こすだけでなく、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)に感染しやすくなる可能性や妊婦においては死産などの可能性があり、早期発見・早期治療が大切です。



梅毒とは？

【病原体】梅毒トレポネーマ(細菌)

【感染経路】感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触(主に性的接触)

【予防方法】コンドームの使用(ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などで、感染の可能性あり)

【症状】

感染後3週間

- ・感染部位(陰部、口唇部、肛門等)のしこり
- ・鼠径部のリンパ節腫脹



感染後3か月

- ・手のひら、足の裏、体全体の発疹(バラ疹)、乾癬



感染後数年

- ・皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍
- ・心臓、血管、脳などの複数の臓器の病変

(写真提供) 一般社団法人日本性感染症学会

県保健所(支所)における梅毒検査(要予約、無料、匿名、即日)

【検査概要】

- ・TP法(イムノクロマト法)を用いた血液検査。HIV検査と同時実施
- ・採血後、約1時間程度で結果が判明

【検査を受ける時期】

- ・正確な判定のためには、感染の可能性のあった日から3か月を経過している必要があります。

【結果が陽性の場合】

- ・医療機関を紹介します。詳しい検査を医療機関で受けてください。

【予約方法等】

- ・県ホームページ(広島市、呉市、福山市での検査を希望する場合の問合先を含む)をご覧ください。



広島県 梅毒検査

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和6年6月分(令和6年6月3日~令和6年6月30日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	59	0.13	0.50		11	ヘルパンギーナ	203	0.70	0.14	
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	1,455	3.14			12	流行性耳下腺炎	14	0.05	0.11	
3	RSウイルス感染症	494	1.69	0.38		13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	咽頭結膜熱	230	0.79	0.53		14	流行性角結膜炎	68	0.89	0.54	
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,000	3.42	1.10		15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	感染性胃腸炎	1,313	4.50	4.75		16	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.00	
7	水痘	59	0.20	0.14		17	マイコプラズマ肺炎	13	0.15	0.02	
8	手足口病	1,893	6.48	0.38		18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	11	0.04	0.09		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7	0.08	0.37	
10	突発性発しん	103	0.35	0.37		※1 第19週(5/8~)からの数値です。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和6年6月分(6月1日~6月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	48	2.18	2.86		24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	69	3.29	2.81	
21	性器ヘルペスウイルス感染症	14	0.64	0.87		25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0.19	0.14	
22	尖圭コンジローマ	14	0.64	0.74		26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
23	淋菌感染症	13	0.59	1.16		※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 **手足口病** (0.47 → 1.57)
ヘルパンギーナ (0.04 → 0.09)

○急減疾患 なし

発生記号(前月と比較)

急増減			1:2以上の増減
増減			1:1.5~2の増減
微増減			1:1.1~1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1~11	12, 13	19~22	14~18, 23~25	
定点数	43	73	19	22	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	32	結核(32)[西部保健所(3)、西部東保健所(3)、東部保健所(2)、広島市保健所(17)、呉市保健所(3)、福山市保健所(4)]
三類	9	腸管出血性大腸菌感染症(9)[西部保健所(1)、広島市保健所(3)、福山市保健所(5)]
四類	19	A型肝炎(1)[西部保健所(1)]
		E型肝炎(1)[広島市保健所(1)]
		レジオネラ症(4)[西部保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(1)、呉市保健所(1)]
		重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(3)[西部保健所(1)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)]
五類	47	日本紅斑熱(10)[東部保健所(5)、呉市保健所(1)、福山市保健所(4)]
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(6)[東部保健所(1)、北部保健所(1)、広島市保健所(1)、呉市保健所(2)、福山市保健所(1)]
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)[広島市保健所(1)]
		急性脳炎(1)[広島市保健所(1)]
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(5)[広島市保健所(3)、福山市保健所(2)]
		後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(2)[広島市保健所(2)]
		侵襲性肺炎球菌感染症(4)[広島市保健所(1)、呉市保健所(2)、福山市保健所(1)]
		水痘(入院例)(2)[東部保健所(1)、呉市保健所(1)]
		梅毒(24)[西部保健所(1)、西部東保健所(2)、東部保健所(1)、広島市保健所(16)、福山市保健所(4)]
		百日咳(2)[西部東保健所(1)、広島市保健所(1)]